

2021年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月7日

上場会社名 株式会社 物語コーポレーション
 コード番号 3097 URL http://www.monogatari.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 央之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 津寺 毅
 財務・成長戦略担当
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

上場取引所 東

TEL 0532-63-8001

(百万円未満切捨て)

1. 2021年6月期第3四半期の連結業績（2020年7月1日～2021年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第3四半期	50,110	1.6	3,451	△6.3	4,620	24.7	2,934	57.3
2020年6月期第3四半期	49,302	11.9	3,685	17.6	3,703	△1.4	1,865	△19.5

(注) 包括利益 2021年6月期第3四半期 2,922百万円 (57.2%) 2020年6月期第3四半期 1,858百万円 (△19.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期第3四半期	243.30	242.56
2020年6月期第3四半期	154.90	154.38

(注) 当社は、2021年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年6月期第3四半期	48,376	20,175	40.9
2020年6月期	38,422	17,493	45.3

(参考) 自己資本 2021年6月期第3四半期 19,829百万円 2020年6月期 17,406百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年6月期	—	55.00	—	40.00	95.00
2021年6月期	—	50.00	—	—	—
2021年6月期（予想）	—	—	—	35.00	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 当社は、2021年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2021年6月期の第2四半期以前の配当金については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 2021年6月期の連結業績予想（2020年7月1日～2021年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	67,822	17.0	4,021	32.5	4,460	47.2	2,860	526.1	237.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）－、除外 1社（社名）物語香港有限公司
（注）詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
（注）詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年6月期3Q	12,070,442株	2020年6月期	12,055,244株
② 期末自己株式数	2021年6月期3Q	2,136株	2020年6月期	1,936株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年6月期3Q	12,062,807株	2020年6月期3Q	12,041,466株

（注）当社は、2021年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は日本取引所グループの「TD-net」で同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症拡大による影響で急速に経済が停滞したのち、初の緊急事態宣言（2020年4月～5月）の解除を受けて経済活動が徐々に再開したことで、個人消費を中心に持ち直しの兆しがみられました。しかし、11都府県を対象とした緊急事態宣言の再発出（2021年1月～3月）により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、1回目の緊急事態宣言解除後、消費者の自粛疲れの反動、農林水産省管轄の「GoTo Eatキャンペーン」等もあり回復基調が見え始めました。しかし、これは一時的なもので、緊急事態宣言が再発出されると、政府や各自治体からの外出自粛要請や営業時間短縮要請等により、外食業界はかつてない極めて厳しい経営環境が続いております。

1回目の緊急事態宣言解除以降、お客さまと従業員の安全を第一優先に据えて感染症対策を徹底しながら店舗運営を行ってまいりました。国内既存店（注）の当第3四半期連結累計期間における売上高は、直営店においては前期比7.4%減、フランチャイズ店においては7.1%減となりました。

当社グループは、2025年6月期を最終年度とする中期経営計画「ビジョン2025」を掲げております。この中期経営計画は、外食事業において日本だけでなく、アジアにおいても顧客・社会に価値提供のできる「アジアにおける業態開発型リーディングカンパニー」へ持続的成長を目指すものです。このような環境の中でも、引き続き郊外ロードサイドの好立地への積極的な出店を進め、国内において直営30店、フランチャイズ10店、海外において3店の出店を実施しました。その結果、当第3四半期連結会計期間末における当社グループ店舗数は572店舗（直営333店、フランチャイズ226店、海外13店）となりました（後掲表1参照）。

また、既存店舗の内外装変更、新メニュー開発、スマートフォン向け販促アプリの充実等、新規顧客の獲得と常顧客化に取り組み、店舗の収益改善に向けた施策を進めるとともに、人財の積極的な採用や教育面の強化、海外事業の強化に加え、業務執行体制の一層の強化を実施し、成長の実現に向けた基盤づくりに取り組んでおります。

当社は事業の一層の拡大、収益力向上を目的として、当社の企業価値の向上を図ることが可能であると考えられる事業提携先として、複数の上場企業へ戦略的なアドバイスの提供実績があるアドバンテッジアドバイザーズ株式会社（本社：東京都港区 以下、アドバンテッジ社）との間で事業提携契約を締結するとともに、アドバンテッジ社がサービスを提供するファンドに対して、転換社債型新株予約権付社債を発行いたしました。

アドバンテッジ社は、外食企業へ多数の投資経験や海外展開の知見を持っております。当社はアドバンテッジ社との事業提携により、当社が今まで培ってきたノウハウに、当社内だけでは実現し得なかった新たな知見を得ることで、国内はもちろん海外事業の飛躍的な成長の実現に向けた諸施策の検討と着実な実行が可能となります。これらにより、当社は名実ともに「アジアにおける業態開発型リーディングカンパニー」を実現してまいりたいと考えております。

以上の結果により、売上高は50,110,852千円（前年同期比1.6%増）、営業利益3,451,788千円（前年同期比6.3%減）、経常利益4,620,947千円（前年同期比24.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,934,856千円（前年同期比57.3%増）となりました。

（注）国内既存店とは、開店から18カ月以上経過している店舗と定義しております。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の概況については、当社グループの事業は単一セグメントでありますので、その概況を部門別に示すと次のとおりであります。

前連結会計年度まで「焼肉部門」に含めておりました『熟成焼肉 肉源』は、「専門店部門」へ変更しております。前年同期比については、変更後の部門に組み替えた数値で比較しております。

①焼肉部門

当第3四半期連結累計期間中において、『焼肉きんぐ』は18店舗の出店（直営13店、フランチャイズ5店）を実施しました。これにより、焼肉部門の当第3四半期連結会計期間末の店舗数は263店舗（直営160店、フランチャイズ103店）となりました。

以上の結果により、直営店の売上高は25,936,644千円（前年同期比3.7%増）となりました。

②ラーメン部門

当第3四半期連結累計期間中において、『丸源ラーメン』は10店舗の出店（直営6店、フランチャイズ4店）、『熟成醤油ラーメン きゃべとん』は1店舗の出店（直営1店）を実施しました。これにより、ラーメン部門の当第3四半期連結会計期間末の店舗数は172店舗（直営77店、フランチャイズ95店）となりました。

以上の結果により、直営店の売上高は7,067,022千円（前年同期比0.9%減）となりました。

③お好み焼部門

当第3四半期連結累計期間中において、『お好み焼本舗』は1店舗の出店(直営1店)を実施しました。これにより、お好み焼部門の当第3四半期連結会計期間末の店舗数は28店舗(直営17店、フランチャイズ11店)となりました。

以上の結果により、直営店の売上高は1,385,226千円(前年同期比9.7%減)となりました。

④ゆず庵部門

当第3四半期連結累計期間中において、『寿司・しゃぶしゃぶ ゆず庵』は9店舗の出店(直営8店、フランチャイズ1店)を実施しました。これにより、ゆず庵部門の当第3四半期連結会計期間末の店舗数は87店舗(直営70店、フランチャイズ17店)となりました。

以上の結果により、直営店の売上高は9,086,070千円(前年同期比0.5%減)となりました。

⑤専門店部門

当第3四半期連結累計期間中において、『牛たん大好き焼肉はっぴい』は1店舗の出店(直営1店)を実施しました。これにより、専門店部門の当第3四半期連結会計期間末の店舗数は9店舗(直営9店)となりました。

以上の結果により、直営店の売上高は1,120,661千円(前年同期比16.3%減)となりました。

⑥フランチャイズ部門

主にフランチャイズ加盟企業からの売上ロイヤルティ・加盟金・業務受託料等であります。当第3四半期連結累計期間中にフランチャイズ10店舗の出店を実施しました。これにより、当第3四半期連結会計期間末のフランチャイズ店舗数は226店舗となりました。

以上の結果により、売上高は3,482,650千円(前年同期比1.0%減)となりました。

⑦その他部門

主に連結子会社である物語(上海)企業管理有限公司による取り組みであります。当第3四半期連結累計期間中に3店舗の出店を実施しました。これにより、その他部門の当第3四半期連結会計期間末の店舗数は13店舗となりました。

以上の結果により、売上高は2,032,576千円(前年同期比23.5%増)となりました。

表1 「部門別店舗数の状況」

(単位:店)

	直営(国内)	FC(国内)	海外	2021年3月末 店舗数
焼肉部門	160	103	—	263
ラーメン部門	77	95	—	172
お好み焼部門	17	11	—	28
ゆず庵部門	70	17	—	87
専門店部門	9	—	—	9
その他部門	—	—	13	13
合計	333	226	13	572

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は48,376,924千円となり、前連結会計年度末と比較して9,954,637千円の増加となりました。これは主に現金及び預金が5,680,239千円増加したこと、売掛金が979,827千円増加したこと、設備投資により有形固定資産が2,482,133千円増加したこと、新規出店用地の契約により差入保証金が193,371千円増加したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は28,200,964千円となり、前連結会計年度末と比較して7,271,796千円の増加となりました。これは主に買掛金が508,028千円増加したこと、社債が5,849,551千円増加した一方、長期借入金が940,444千円減少したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は20,175,960千円となり、前連結会計年度末と比較して2,682,840千円の増加となりました。これは主に利益剰余金が2,392,082千円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は40.9%(前連結会計年度末は45.3%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年6月期の通期業績予想につきましては、2021年1月27日に公表いたしました内容に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,888,090	15,568,330
売掛金	1,435,940	2,415,768
商品及び製品	348,939	375,638
原材料及び貯蔵品	78,378	82,647
その他	1,313,994	1,946,882
貸倒引当金	△527	△812
流動資産合計	13,064,816	20,388,454
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	17,342,516	18,772,790
その他(純額)	2,683,315	3,735,175
有形固定資産合計	20,025,831	22,507,965
無形固定資産	315,812	313,573
投資その他の資産		
差入保証金	4,183,212	4,376,584
その他	832,614	790,346
投資その他の資産合計	5,015,826	5,166,930
固定資産合計	25,357,470	27,988,469
資産合計	38,422,287	48,376,924

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,129,594	2,637,622
短期借入金	700,000	700,000
1年内返済予定の長期借入金	6,816,646	6,736,738
未払法人税等	335,558	1,015,475
株主優待引当金	29,184	34,099
賞与引当金	—	490,328
店舗閉鎖損失引当金	—	14,500
ポイント引当金	27,687	8,615
その他	3,790,742	4,489,138
流動負債合計	13,829,412	16,126,517
固定負債		
社債	1,000,000	6,849,551
長期借入金	4,000,644	3,060,200
退職給付に係る負債	366,770	403,516
資産除去債務	510,607	544,556
その他	1,221,733	1,216,621
固定負債合計	7,099,755	12,074,446
負債合計	20,929,167	28,200,964
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,727,313	2,749,484
資本剰余金	2,541,304	2,563,475
利益剰余金	12,195,194	14,587,276
自己株式	△2,494	△3,436
株主資本合計	17,461,316	19,896,800
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,669	3,278
為替換算調整勘定	△60,319	△71,017
退職給付に係る調整累計額	1,851	911
その他の包括利益累計額合計	△54,797	△66,827
新株予約権	86,601	345,987
純資産合計	17,493,119	20,175,960
負債純資産合計	38,422,287	48,376,924

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2021年3月31日)
売上高	49,302,383	50,110,852
売上原価	16,993,855	17,130,728
売上総利益	32,308,527	32,980,124
販売費及び一般管理費	28,623,228	29,528,336
営業利益	3,685,298	3,451,788
営業外収益		
受取利息及び配当金	11,925	11,407
受取賃貸料	8,833	9,513
協賛金収入	16,438	16,297
助成金収入	—	1,066,379
為替差益	—	106,436
その他	70,213	35,461
営業外収益合計	107,410	1,245,495
営業外費用		
支払利息	13,368	20,596
為替差損	41,221	—
賃貸収入原価	7,051	6,703
その他	27,914	49,036
営業外費用合計	89,556	76,336
経常利益	3,703,152	4,620,947
特別利益		
関係会社清算益	—	36,133
特別利益合計	—	36,133
特別損失		
固定資産除却損	55,021	67,226
減損損失	162,349	71,840
店舗閉鎖損失	279,930	184,299
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	14,500
その他	18,589	—
特別損失合計	515,891	337,865
税金等調整前四半期純利益	3,187,261	4,319,214
法人税等	1,325,427	1,384,358
四半期純利益	1,861,833	2,934,856
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,375	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,865,209	2,934,856

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	1,861,833	2,934,856
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△855	△390
為替換算調整勘定	△5,246	△10,698
退職給付に係る調整額	3,071	△940
その他の包括利益合計	△3,029	△12,029
四半期包括利益	1,858,804	2,922,826
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,862,252	2,922,826
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,448	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

「物語香港有限公司」は、第1四半期連結会計期間において清算終了したため、連結の範囲から除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

当社は、飲食店事業の単一セグメントのため、記載を省略しております。